



# 中央聖書神学校

## Central Bible College

# CBC後援会だより

vol.22

## 神学校でも行ってみるか

中央聖書神学校学監 堀川 寛  
 (広島基督教会 三滝グリーンチャペル 牧師)



私は元々ガチの理科系で、大学も迷うことなく工学部を選び、造船工学科に進学しました。ところが大学に入ったとたん、どうしたことか数字に興味を失い、2年生の終わりにとっとと辞めてしまいました。辞めてどうしようかと考えたとき、「神学校でも行ってみるか」と思い、大した決意もなくCBCの門を叩きました。私の父も祖父も牧師だったので、神学校に行くことは「家業を継ぐ」事でした。一方で、「この仕事は神様の仕事だから、神様がお許しにならないければ続けられないだろう」という変な確信？ もありました。

んでカセットテープアルバムを作ったこともありました。それでも神学校は卒業し、牧師になりました。あれから41年！今のところ神様は私が牧師であることを許し続けておられます。それどころか、今では神学校の学監という重責を担うことにもなっています。実に不思議なことです。ある意味これも神様の御業なのでしょう。私のような「非真面目(不真面目)ではありません」な人間が牧師を続けてこられた背景には、この教団の自由さと柔軟さがあると思います。「風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない」(ヨハネ福音書3:8)とあるように、聖霊の働きは常に予想外です。どここの神学校も存続の危機

に直面する中、CBCは多くの神学生を育て続けています。これは、いち早くインターネットによるオンライン教育に着目し、iClassや遠隔地授業を行ってきたことによるものです。聖霊の働きを強調するCBCは、変化を恐れず、むしろ新しい風を求め続けてきたのです。日本のキリスト教会はまさしく危機的状況にあります。今こそ本當の意味での聖霊の働きが必要です。聖霊に自由に働いていただくためには、私たちが常識や固定観念に囚われていてはなりません。「リバイバルは神学校から始まる」と言われています。CBCがこれからも自らの殻を破り続け、神の業に資する人材を生み出し続けるためになお一層のご支援とご禱援をお願いする次第です。

# 学生ランチ交流会から

CBC後援会長 酒井 勝

夏の派遣・神学校キャンプの慰労も兼ねて、ランチ交流会を8月31日（土）に本科生（6名出席2名欠席）を招いて中央聖書教会で行いました。

ランチは、豪華弁当に加えて当日の担当役員の手作りのおかずとデザートで食べきれないほどの栄養価のある持てなしが出来たと思います。

後援会各役員からは学生の皆さんへの期待と励ましの言葉を語った後に、学生の皆さんから証しや生活面の状況について聞くことができました。

神学校改築に伴い、従来の学生寮や食堂が解体され、本科生は宿泊棟等に移り、後援会役員会では食事を含む生活面を心配していました。

食事面では、弁当・自炊の食事代の支給がされています。賄いの手伝いからは解放されましたが、忙しい時は食事を抜いてしまう話もあり、栄養面も含めて心配になりました。

4月当初、一部の学生さんからは寮生活と違い、個人のプライベートの時間の確保ができて良いと聞いていたのですが、月曜や休日は誰とも顔を合わせない、学ぶ教科によって学年間を超えて一緒に活動する機会が少ない等、コミュニケーション不足が心配されました。神学校は知識面の充実や通信科も含めた神学校の機能面の改善努力は感じていました。

今回の本科生との交流会から、日常面の課題を感じました。祈り合う、相談し合う等、牧師・伝道者として現場に出て活躍できるよう、後援会は神学校生活の充実を祈り支えたいと願っています。



お弁当と手作りのお惣菜とデザートで  
幸いな愛餐の時を持ちました

現在、男子学生は教団管理棟（旧弓山邸）、  
女子学生はC棟（宿泊棟）を寮として使っています

工事現場を抜けて授業や  
チャペルに向かいます

# 応援しています

明石キリスト教会牧師 内川高志



今を遡ること30年前、CBCの神学生だった私は同期の仲間と一緒に九州地方へのキャラバン伝道に出かけていた。東京から車とフェリーの長旅で向かい、北九州、筑豊、熊本、人吉、長崎、天草と各地の教会を訪ね、奉仕の機会をいただいた。数々の思わぬハプニングも含め、当時の思い出は多々あるが、かなりの時間ハンドルを握った神学校号(車)のことも印象深く覚えている。

時が経ち、私は無事にCBCを卒業して教団の教職となった。コロナ禍の始まりかけた2020年2月、現在の赴任地である明石キリスト教会でCBC校長の三宅規之先生をお迎えして聖会を行った。その折に三宅校長からCBCの様子を伺ったのだが、その一つに神学校号の老朽化問題が挙げられていた。翌月の役員会の席上、役員たちから一つの提案がなされた。それはCBCの70周年記念に合わ

せ、神学校号を新しく購入するための献金をしようという提案だった。しかも、購入に必要な全額をさげようというのだ。明石キリスト教会では以前からイースター献金の一部をCBCにさげたり、CBC後援会の個人会員として協力する方々もおられたりして、CBCを応援したいという気持ちが強かったのだが、この献金についても提案がすぐに受け入れられ、教会全体が賛同してさげることとなった。その様子を見ながら、私はひとり感動していた。改めて自分の神学生時代にも、どれほどの有形無形の応援を諸教会から受けていたことかと思ひ、感謝せずにはいられなかったのだ。

2021年11月、新しくなった神学校号に乗って神学生たちが明石を訪れ、教会のために祈ってくれた。明石の教会員一同もまた、自分たちの祈りと献金の結実を見て感謝し、主を崇めた。今、その神学

生たちはそれぞれに宣教の最前線へ遣わされ、今日も主の働きを担っている。全国諸教会の祈りと献金による応援でこれまでのCBCの働きは支えられ、そして、これからも支えられていく。なおも主の働き人が数多く起こされ、遣わされていくことを願ひ、CBCのために祈り、応援しよう。



2021年11月 明石キリスト教会にて (撮影：内川師)

### 熊谷福音キリスト教会

埼玉県熊谷市

教会モットー

「キリストを喜び、キリストを伝える教会」

2024年7月14日、熊谷駅で秩父鉄道に乗り換えて一つ目、上熊谷駅より徒歩7分に牧師館(旧会堂)と道路を挟んで5階建てビルを改装した教会堂が建っています。礼拝堂は1階ですが、2階から上は図書館や大ホール、小ホール(会議室)も多数あり、日曜学校等の教会活動だけでなく、地域活動にも利用して頂くことで、地域密着型の教会を目指しているような印象を受けました。

酒井勝会長と富山書記が訪問、山本憲治・敦子先生ご夫妻、渡辺睦子先生、そしてCBC基礎課程で学んでいる家永神学生が迎えて下さいました。

礼拝では素晴らしい賛美や山本先生から励ましのメッセージを受け、大いに祝福されました。その後、会長から神学校を取り巻く状況報告と後援会の趣旨説明、富山からはCBC関東分校で学んだ頃の故渡辺正晴先生との思い出を交え、後援会への入会アピールをさせて頂きました。

現在、数名の方が入会して下さい、感謝しています。(富山均)



左から 山本憲治師、山本敦子師、渡辺睦子師、酒井会長、富山書記、家永神学生

# 教会訪問レポート



### 西東京キリスト教会

東京都西東京市

暑さが日増に強くなってきた6月16日、会長の酒井勝兄と、西武線西武柳沢駅で待ち合わせ、西東京キリスト教会を訪問しました。道々、山田亘先生にお会い出来るだろうか、先生の近況が伺えるだろうか……と話しながら向かいました。

着いてすぐ、能城先生と簡単な打合せをしている中で、前日に山田先生が召されたことをお聞きし、大変、残念な気持ちになりました。西高井戸教会に派遣されていた頃、きれいな声で讃美をされ、よく祈られていた先生の姿を思い出しました。

礼拝後、皆さんに後援会入会申込書(パンフレット)をお配りし、酒井兄が後援会のアピールをし、種を蒔きました。関心を持って下さった方、未使用の切手を献げて下さった姉妹がおりました。

その後、併設されている「サフラン愛児園」を見学する機会が与えられ、合わせて感謝な訪問となりました。(岩本章子)



左から 酒井会長、能城一郎師、能城基実師、岩本副会長

## 2024年度 会員数・会費納入状況 (1月~9月)

| 区分   | 年間計画 |           | 実績  |           | 計画対比 |            |      |
|------|------|-----------|-----|-----------|------|------------|------|
|      | 会員数  | 会費(円)     | 会員数 | 会費(円)     | 会員数  | 会費(円)      | 会費進捗 |
| 法人会員 | 7    | 300,000   | 3   | 230,000   | -4   | -70,000    | 77%  |
| 教会会員 | 55   | 1,000,000 | 21  | 450,000   | -34  | -550,000   | 45%  |
| 個人会員 | 300  | 2,500,000 | 194 | 1,479,000 | -106 | -1,021,000 | 59%  |
| 賛助会員 | 50   | 100,000   | 23  | 50,000    | -27  | -50,000    | 50%  |
| 合計   | 412  | 3,900,000 | 241 | 2,209,000 | -171 | -1,691,000 | 57%  |

これからもお祈りとお支援をよろしく願いいたします  
 献身者が経済的な憂いがないように支援の輪に加わりましょう

「後援会だより」や郵便局の払込取扱票が必要でしたら、  
 ご遠慮なく左記にお問い合わせください。

発行所 中央聖書神学校後援会  
 〒170-0003  
 東京都豊島区駒込3-15-20  
 TEL 03-33918149  
 FAX 03-33918140  
 E-mail kouenka@cbc-j.ac.jp  
 編集 後援会委員会  
 印刷所 ベーテルフォト印刷(株)  
 発行日 2024年11月1日

8月末に実施された「学生ランチ交流会」の記事を興味深く読みました。食堂が廃止され半年程度しか経過していない中で、神学生の生活スタイルが大きく変化しているのに驚きました。危惧していた食事面の課題が顕在化してきましたが、学校の関係者で改めて善後策を講じる必要性があるのではと感じました。今後、学校内にカフェテリアの設置が検討されていると聞きましたので、是非、昼食だけでも学校側から提供できるように願っています。

今年も残すところ2ヶ月を切り、会費納入額が目標に達するかどうか内心不安ではありますが、さらに多くの兄弟が後援会の一員として加わって下さって、主の働きの前進がなされることを信じて祈っています。応援よろしくお願います。 書記 富山均